



IBM i マニフェスト 幹事

武藤 元美氏

株式会社福岡情報ビジネスセンター
代表取締役社長

IBM iの優位性を熱いメッセージとして発信する

CAMSS (Cloud、Analytics、Mobile、Social、Security) のすべての要求を実装することが、企業経営を支えるITインフラに求められています。IBMテクノロジーを満載し、インテル製の8倍の並行処理能力をもつPOWER8搭載のPower Systemsは、最適なオペレーティングシステムであるIBM iの実装により、その先進的なシングルレベル・ストレージ技術と仮想化技術TIMIの相乗効果で、最もセキュアで高速処理を発揮するクラウドファースト基盤となります。

加えてPower SystemsにLinuxを搭載することで、IBM iとLinuxの親和性を活かしたSoE (System of Engagement) を実装する、ハイパフォーマンスなCAMSS環境を比較的安易に実現できるのです。

昨今、セキュリティの重要性に注目が集ま

る事案が続いていますが、セキュアなIBM iのDB2を活用し、データベースそのもののセキュリティレベルを高めながら、さらにBIツールであるWebQueryでビッグデータを解析するAnalyticsをローコストで可能にします。

またモバイルデバイスやオープンソース(OSS)を活用することで、基幹系システムのみならずトータルソリューションを実装できる、まさに経営を支えるITインフラとしてのIBM iこそが経営を伸ばし、事業継承を可能とする最適なオペレーティングシステムです。

私たちはIBMと連携しながら、このことを熱いメッセージとして発信するコミュニティです。より多くのユーザー様に、IBM iのテクノロジーの優位性を認知していただく活動に、ますます注力していく所存です。